

開催: 4/27(土) ~ 4/29(月), 5/3(金) ~ 5/6(月) の7日間

ゴールデンウィークスペシャル

チューリップの花かんむりでパチリ



チューリップの花絵、今年はまいかちゃん



花育イベントもりだくさん!



今年の食育・花育センターのチューリップはなんと約 60 品種で約 3 万 9 千本。通常のチューリップの開花時期は 4 月中旬から下旬のため、ゴールデンウィーク時には終わりを迎える場合も多いのですが、このイベントに合わせて咲くように晩生の品種を中心に選んで植えました。見事に咲いてくれた色や形が異なる様々な品種を、端から端までじっくりと眺めている方々もたくさん。そして花畑の一面には、花育マスター有志がデザインしたチューリップ畑も登場し、ここで記念撮影をする方も大勢いらっしゃいました。

見本園の花壇では、オランダ大使館と新潟オランダ協会から寄贈を受けたチューリップの球根が愛らしく咲き、珍しい原種系の品種は、大いにみなさんの興味をひいたようです。そのとなりの一面には、新潟生まれ(品種開発)のチューリップを紹介するコーナーも設けました。

道路脇ではいがた花絵プロジェクトを通じて、市内の球根生産者から寄贈された約 4,600 本のチューリップが道行く人々の目を楽しませてくれました。

こども創造センター・動物ふれあいセンター 開催: 5/25(土) ~ 5/26(日)

オープニングイベント

愛称が「いくとびあ食花」に決定した、食と花の交流センターエリアに 2 つの施設がオープンしました。食育・花育センターも合わせて 3 施設でオープニングイベントを開催し、多くの市民でにぎわいました。



最近行われた花育活動の一部をご紹介します。



地域・世代間交流の花育

新潟駅前町親和会婦人部 「弁天公園の花の植え替え」

2013年6月1日
花育マスター: 丸山孝友さん

子供会、老人会と共に、地域の方々が協力してプランターの植え替えが行われました。今回で 3 回目となるこの活動、まだまだわからないことも多かったようですが、花育マスターから指導を受けながら今年は約 60 個ものプランターに花を植えました。花育のみならず、地域の緑化、さらに地域交流や世代間交流もできる素晴らしい活動でした。



朝 10 時に集合して全員で段取りを確認。38 人も集まりました。



花育マスターの丸山さん、今日の作業の心強い味方です。



いつもこの公園で遊んでいるというひまわり保育園の園児も参加。



桜の木の下にもサルビアを植えて彩りを添えます。



完成したプランターを公園内にバランスよく配置。



植え替えたピオラを捨てずに再利用して道路脇に植えました。

身近な草花で花育

白根そよ風保育園親子遠足 いくとびあ食花体験プログラム 「草花で遊ぼう体験」

2013年5月31日

いくとびあ食花では、各施設の特色を活かした体験プログラムを提供しています。今回は、ごく身近にある草花を使っての簡単な遊びを体験。大人にとっては懐かしい遊びでもあります。幼い頃の草花遊びの思い出は、将来貴重なものになることでしょう。



葉についたアゲハ蝶の幼虫に興味津々



代表的な遊びのひとつ、笹舟。



さあ、マツの葉を使って、となりの子とすもうをしてみよう!



すもうで勝ったら、ヤエムグラのプローチをプレゼント。



スキの葉が飛行機になるんだよ。



親子で一緒にチャレンジ、遠くまで飛ばせるかな?



最後に、シイの葉で作ったおさかなをみんなにプレゼント。